

# 長野の林業

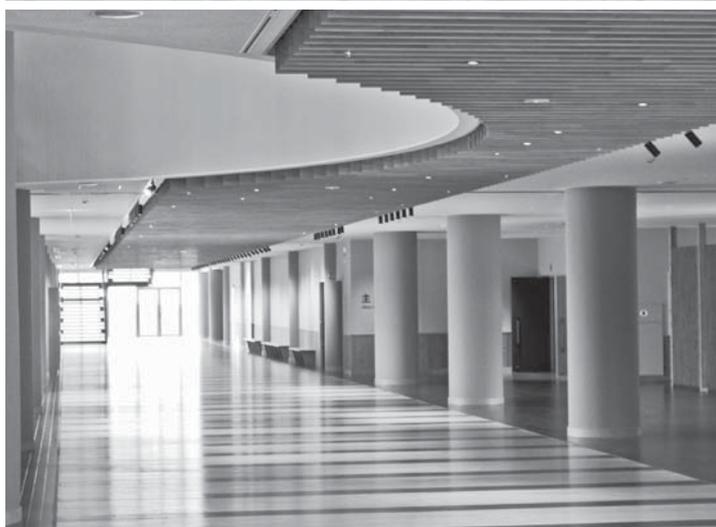
令和2年4月10日発行  
長野の林業編集委員会

## No.363

もくじ



県立武道館	1	
<b>特集</b> 令和2年度林務部の主要施策の概要	2	
トピックス	成熟する長野県の森林	4
	森林散策のおさそい／長野県林業総合センター	5
	今年度の緑化運動がはじまります	
お知らせ	人事異動 中部森林管理局／長野県	6
県森連だより		7
長野県の木材市況		8



## 県立武道館(佐久市)が、3月26日に開館しました。

県立武道館は、長野県の武道振興の拠点となる「武道の聖地」をコンセプトに、カラマツやアカマツなどの県産材をふんだんに利用し、素足で競技する武道に合ったしつらえとなっています。

構造は、柔・剣道場6面をとれる主道場、柔道場、剣道場を備えているほか、武道以外のイベントなど多目的に利用できます。

## 令和二年度 長野県林務部の主要施策の概要

美しく豊かな木と森の文化の

再生・創造を目指して

本県の森林資源は、先人たちのためまぬ努力によって利用期を迎えている一方、年間素材生産量は五十四万 $m^3$ にとどまるなど、十分に活用されているとは言い難い状況です。

また、森林所有者の世代交代や過疎化等により、森林と人との関係は希薄になり、地域の森林を自立的・持続的に管理する体制が失われつつあります。

さらに、昨年の令和元年東日本台風災害では、県内にも激甚な被害が発生しており、今後、山腹崩壊や土石流、流木や倒木による災害など、山地災害の頻発が懸念されます。



これらの課題に対して、森林資源を効果的に活用できるように、昨年度から始まった森林環境譲与税を活用して森林管理の体制づくりをしつつ、スマート林業の普及定着・高性能林業機械の計画的な配備等により生産性の高い林業経営の実現を目指します。また、森林づくり県民税等を活用して、県土の強靱化や地域住民の皆さんが参加する県民協働の森林づくり等を進めます。

令和二年度当初予算の一般会計の総額は、百六十九億六千七百九十七万八千円です。「しあわせ信州創造プラン二・〇（長野県総合5か年計画）」の具現化に向け、喫緊の重要課題に対応できるよう編成しました。

ここでは、主要な施策について、「しあわせ信州創造プラン二・〇」に沿って説明します。

### 収益性と創造性の高い林業の推進

#### 森林経営管理制度の円滑な運営

●適切な管理が行われてこなかった森林を、所有者に代わって市町村が

経営管理を行う森林経営管理制度について、市町村の取組や広域連携体制づくり等を支援し、制度の円滑な導入を図ります。

#### 次世代を担う組織・人づくり

●林業現場の安全性を向上させるため、安全セミナーの開催や伐倒作業の訓練装置の導入、林業大学の設備の充実等を進めます。

●新規就業者を確保するため、情報発信の強化、VRシミュレーターによる林業体験の提供などにより、若年層への林業の認知度等の向上を図ります。



#### 革新的な技術を活かした林業の生産性の向上

●ICT等の先進的な技術を活用した「スマート林業」の取組について、広葉樹の資源把握の実証や人材の育成を行います。

●ドローン等の活用により造林作業に必要な設計・施行管理の省力化を図るほか、補助率の高上げにより人工造林を支援し、主伐の促進、持続的な林業を推進します。

#### 県産材の供給体制整備や需要拡大

●県産材の利用促進や、木材産業等の競争力の強化のための取組について、加工、流通に関する施設や木質バイオマスの利用施設等の整備を支援します。

●非住宅分野における県産材の利用を推進するため、県内の木材加工事業者の情報提供やアドバイス等を行うコーディネートセンターを配置するとともに、木材加工事業者のJAS（日本農林規格）の取得や、多くの県民が利用するオフィスや店舗等の施設の木質化を支援します。



【主な関連事業】

森林経営管理体制支援事業(四千七百七十九万八千円)  
 林業労働力対策事業(七百三十二万三千元)  
 信州の森林づくり事業(人工造林支援)(四千八百六十万円)  
 地消地産による木の香る暮らしづくり事業(九千三百五十七万五千元)

県土の強靱化

災害に強い森林づくりの推進

●航空レーザ測量や人工衛星のデータを活用し、危険性の高い箇所を絞り込んで効果的に森林整備や治山施設整備を行うほか、主要なライフライン沿いの危険木を伐採するなど倒木対策を進めます。



森林病害虫や野生鳥獣被害対策の推進

●松くい虫被害への対応について、人工衛星画像等を活用して被害レベルの見える化を図りつつ、伐倒駆除や樹種転換等を組み合わせ合わせた総合的な対策を進めます。  
 ●野生鳥獣による様々な被害に対して、地域が一体となった総合的な管理対策を進めるほか、技術力を有するハンター等の育成を通じ、地域における野生鳥獣被害対策を推進します。

【主な関連事業】

信州の森林づくり事業(二十四億八千九百五十一万二千元)  
 公共治山事業(四十二億四千五百六十六万三千元)  
 森林健全化推進事業(二億二千七百四十四万九千元)  
 野生鳥獣総合管理対策事業(二億八千三百四十三万四千円)

個性豊かな地域づくりの推進

里山等の地域資源で自立した社会の構築

●「里山整備利用地域」で地域住民の皆さんが主体的に行う里山の整備や利活用に対する支援や、地域のリーダー役となる人材の育成等を、森林づくり県民税を活用して行います。



森林の多面的利活用の推進

●観光地の魅力向上につながる景観対策を強化するとともに、森林セラピー基地の施設改修、学校の整備や林業体験学習などに対する支援について、森林づくり県民税を活用し進めます。

●信州ジビエの振興について、生産施設整備の支援等を通じて安定的な供給体制を整備します。また、県営本部で販路の確保や消費拡大のための営業活動を行い、信州ジビエの付加価値を高める取組を進めます。



【主な関連事業】

里山整備利用地域活動推進事業(四千四百万円)  
 観光地等魅力向上森林景観整備事業(三千五百万円)  
 学校林等利活用促進事業(一千七百九十七万五千元)  
 信州ジビエ総合振興対策事業(一千百三十八万四千円)

【森林政策課】

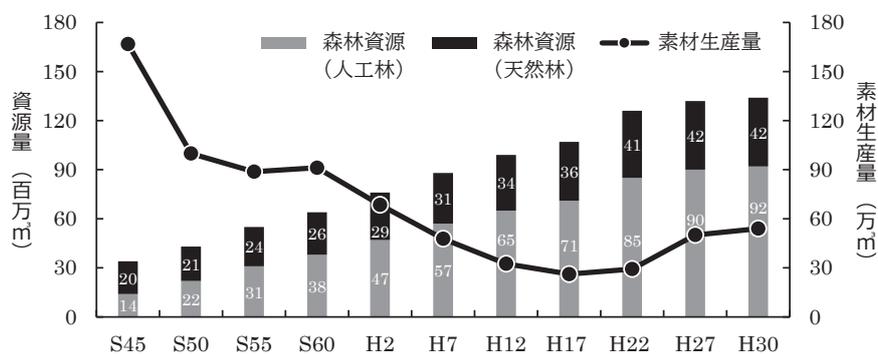


## 成熟する長野県の森林 〜主伐・再造林・利用に向けて〜

戦後に植林された木々が成熟し、充実した森林資源は本格的な利用期を迎えています。県内でも、東信地方を中心として主伐による素材生産が増加しており、素材生産体制にあわせた伐採から植栽まで一貫して行う作業システムや高性能林業機械の導入、コンテナ苗木の活用など、利用に向けた取組みが進んでいます。他にも、主伐の分野に限らず、森林資源の有効活用に向けて、ICT技術を活用したスマート林業の取組みも始まっています。

このように、地域によって主伐や資源の利活用が進んできている一方、本県の森林資源を継続的に有効活用し、収益性の高い林業を推進するためには、主伐による素材生産や主伐後の再造林、県産材の利用拡大を今後一層進めていくことが必要です。

ここでは、これらの課題を解決するために令和二年度から新たに行う取組みを紹介します。なお、補助用件等の詳細については、各地域振興局林務課までお問合せください。



長野県の森林資源量と素材生産量の推移

### 【再造林を支援します】

主伐後の再造林における森林所有者の金銭的負担の大きさが、主伐が進まない理由の一つとなっています。このため、主伐後の地拵え、人工造林及び獣害対策について、「信州の森林づくり事業」の補助率を15%嵩上げし、「伐って・植えて・育てる」持続的な林業を推進します。

### 【森林づくり推進課】



### 【県産材での木質化リノベーションを支援します】

県産材の利用促進を図るため、コンビニエンスストア・飲食店などの店舗や、事務所などの職場を、県産材を活用して魅力ある空間へとリノベーション(改修工事)する皆さまに対し、支援(木づかい空間整備事業)を開始します。

この事業は、内装の木質化や陳列棚・テーブル等の木製品の設置を対象として、上限事業額までの費用について、内容により二分の一から四分の三を補助するものです。施設の木質化に関心をお持ちでしたら、事業の活用をぜひご検討ください。

なお、詳しい事業内容につきましては、県産材利用推進室HPに掲載し、四月下旬頃から募集を行う予定です。

### 【県産材利用推進室】

### 【森林政策課・信州の木活用課】



# 林業総合センターの森林を散策しませんか

塩尻市の東部の里山に位置する長野県林業総合センターでは、「森林教室」や「森の勉強会」、「林業作業体験講座」を開催し、県民の皆様には森林・林業に親しむきっかけとしていますが、新型コロナウイルスの影響で、感染拡大防止の観点から、四月の開催は中止とさせていただきます。

とはいえ、四月から五月にかけての林業総合センターは、多くの木々が花を咲かせ、繁殖期を迎えた鳥たちのさえずりでとても賑やかな季節です。予断を許さないウイルスとの戦いは続いておりますが、可能であれば、普段と変わらずに生きている森の生き物に目や耳を傾けていただくというのも、癒しの一つとしていかがでしょうか。



今のところ林業総合センターの森林への入場制限は予定しておりません。少人数で、静かに、気候の良い時期を見計らって森林をお訪ねいただければと思います。現在、中止させていただいている行事につきましても、心配がなくなり次第再開したいと考えておりますので、その時は是非ともご参加いただければ幸いです。

再開の情報などは、林業総合センターのホームページの当該企画のページを参照してください。

【林業総合センター指導部】

## 令和2年度緑化運動がはじまります。

4月1日から5月31日は『緑化推進特別強調期間』です。  
緑の募金活動や緑化活動などの実施について、ご協力をお願いします。

4月以降、春の芽吹きが進みます。皆さんも家庭や職場の緑化や身近な山や森林に足を運んでいただき、緑と触れ合ってみませんか。

### ○ 緑化運動の取組など

県では、毎年「ふるさとの森づくり県民の集い」（県植樹祭）を行っています。令和元年度は、6月8日（土）に木曾郡木曾町三岳「御岳ロープウェイ」及び隣接の黒沢御岳国有林において開催しました。

緑の募金活動によりご協力いただいた「緑の募金」は、多くの「人と緑」をつなげる活動に役立てられています。

※令和2年度の県植樹祭につきましては、決定次第、プレスリリース等でお知らせいたします。



植樹の様子



街頭募金の様子

【長野県 林務部 森林づくり推進課】



中部森林管理局

人事異動

令和二年四月一日付

中部森林管理局次長 花村 健治  
 (名古屋事務所長) 烟 茂樹  
 計画保全部長 千葉 求  
 東濃森林管理署長 木村 敏宏  
 総務企画部総務課長 中村 栄一  
 総務企画部経理課長 杉崎 浩史  
 計画保全部保全課長 高嶋 正明  
 計画保全部保全課長 郷原 浩明  
 森林整備部資源活用課長 谷澤 辰美  
 森林整備部技術普及課長 谷澤 恭子  
 総務企画部専門官 田村 英雄  
 (契約適正化担当) 屋敷 昌司  
 総務企画部総務課企画官 岡村 宗明  
 (安全衛生担当) 三井 正  
 総務企画部企画調整課監査官 森 孝之  
 計画保全部治山技術専門官 三島 文雄  
 計画保全部専門官(災害調整担当) 上原 勇  
 計画保全部治山課災害対策分析官 北村 大  
 森林整備部企画官(供給戦略担当) 永瀬 庄栄  
 (木曾森林管理署) 三井 正  
 森林整備部企画官 永瀬 庄栄  
 (木材需給対策担当) 小須田 啓  
 森林整備部企画官(長期安定供給担当) 後藤 良彦  
 森林整備部企画官(自然再生担当) 小須田 啓  
 企画調整課企画官(業務調整担当) 曾我 義孝  
 伊那谷総合治山事業所長 後藤 良彦  
 森林整備部 曾我 義孝  
 森林技術・支援センター所長 曾我 義孝  
 (森林技術・支援センター) 筒井 雅敏  
 富山森林管理署次長 四ノ嶽 誠  
 北信森林管理署次長 小沢 啓一  
 中信森林管理署次長 上田 喜幸  
 東信森林管理署次長 都竹 昌和  
 岐阜森林管理署次長 井口 智  
 飛騨森林管理署次長 辻井 正徳

長野県林務部(課長級以上)

人事異動

令和二年四月一日付

森林政策課 西沢 弘喜  
 企画幹 重野 靖  
 企画幹 小澤 岳弘  
 主任専門指導員 倉本 栄  
 森林づくり推進課 三澤 雅孝  
 森林づくり推進課長 三澤 雅孝  
 森林づくり推進課 鳥獣対策・シビ工振興室  
 企画幹兼課長補佐兼鳥獣保護管理係長 小泉 寛  
 林業総合センター 降旗 康直  
 管理部長 田中裕二郎  
 育林部長 丸山 勝規  
 林業大学校 小池 一成  
 校長 丸山 勝規  
 森林整備課長 佐久地域振興局 工藤 和彦  
 林務課長 副参事兼課長補佐兼普及係長 武田 佳治  
 諏訪地域振興局 小原 徹  
 林務課長 企画幹兼課長補佐兼治山林道係長 中島 利樹  
 上伊那地域振興局 森口 勝也  
 副参事兼課長補佐兼治山林道係長 森口 勝也  
 南信州地域振興局 秋山 巖  
 林務課長 松本地域振興局 千代 登  
 林務課長 木曾地域振興局 稲村 昌弘  
 企画幹兼課長補佐兼林務係長 稲村 昌弘  
 企画幹兼課長補佐兼治山林道係長 志水 良一  
 長野地域振興局 企画幹兼課長補佐兼林務係長 森 一雄  
 北信地域振興局 企画幹兼課長補佐兼林務係長 森 一雄

4月 記念市のご案内

- ◆ 製品 {花まつり市} セリ売 } 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止させていただきます  
 (本部事務所) 4月18日(土)
- ◆ 原木 『春季謝恩市』  
 (荻原事務所) 4月21日(火) 入札開札 13時 保証金 10万円  
 (坂下事務所) 4月22日(水) 入札開札 13時 保証金 10万円

5月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
新緑まつり 5月16日(土)	5月19日(火)	5月13日(水)	5月12日(火) <small>入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載                      ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです。</small>

新型コロナウイルスの感染状況により、市売りの日程及び入札方法等を変更させていただく場合があります。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曾官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisoken.com>

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曾郡上松町荻原中島2-45  
 ☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原中島1431-1 ☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885  
 やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村荻原844-1 ☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086  
 坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1 ☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

## アカマツ被害林再生事業が 農中森力基金助成採択

令和二年度に松本市で実施を予定している、松くい虫によるアカマツ被害林の再生と被害材の活用を検討する事業が、第六回農中森力基金助成事業に採択されました。これは、松本広域森林組合と長野県森林組合連合会が合同で申請し、審査を受けたものです。

農中森力基金助成事業は、農林中央金庫が、荒廃林の再生事業を中心に、特に地域の模範となり、高い波及効果が見込まれるものや先進性のあるものに対して助成を実施し、地域の中核を担う林業事業体の事業実施態勢の整備をサポートすることを目的に実施されています。

今回採択された事業では、県内でも松くい虫による松枯れ被害が拡大している松本市四賀地区のアカマツ林を対象に、ドローン空撮による枯損木の抽出と資源量把握を行ったうえで、枯損木の有効活用と伐出手法、その後の更新方法の検討を行います。被害を受けた枯損木は、伐倒後林内でチップ化し、木質バイオマス発電施設等への供給を予定しています。また、伐出後は、抵抗性アカマツの植栽や、林床に侵入している広葉樹の

育成を行い、地域の森林再生の方向性を検討していきます。



松枯れ被害の進行する事業実施予定地

## 林業職員協会通常総会開催

令和二年三月二十七日、長野県林業センタービル（長野市）で、長野県林業職員協会通常総会が開催されました。当日は、県森連高田専務理事による来賓挨拶に引き続き議事が行われ、議長には武井会長（松本広域森林組合参事）が就任しました。

議事は、第一号議案・令和元年度事業報告書及び収支決算書の承認から、第四号議案・役員改選まで審議の上、原案通り承認・決定されました。

役員改選では、新会長に北信

州森林組合の南都業務係長が就任しました。

長野県林業職員協会は、市町村や森林組合の林業に携わる職員で構成されており、研修や情報交換の場を設けてスキルアップを図り、美しい森林を未来に引き継ぐ方策を見出すことを目的に活動しています。

令和元年度は、昨年度に引き続き、林業基本問題研究会を開催し、県産材の大口納入先である、(株)キーテック山梨工場の見学を行ったほか、静岡県内の地元産材をふんだんに活用した建築物を訪れ、木材利用におけるデザインが果たす役割や活用用途について学びました。

十月に長和町で予定していた県大会は台風19号の影響で中止となりましたが、このほかにも支部単位では、スキルアップや知見を深める研修が開催され、組織間での情報交換や職員の交流を行うことができました。

## コンプライアンス研修会開催

長野県森連では、令和二年三月二十七日に、長野県林業センタービル（長野市）で、コンプライアンス研修会を開催しました。

今回は、講師に（一財）長野経

済研究所主席コンサルタント風間登志子氏をお招きし、コンプライアンスの定義と組織における不正事案発生のメカニズム、その予防方法について学びました。研修のなかでは、過去の不適正事案等を例に、組織における内部牽制の重要性や、内部・外部通報窓口の有効性、オープンコミュニケーションの必要性などについてわかりやすく解説をいただきました。森林組合系統では、過去の不適正事案を省みて、信頼回復と再発防止の観点からコンプライアンス態勢の強化が不可欠です。系統の健全な発展のため、従業員個々が責任と自覚をもって、日々の業務に取り組んでまいります。

## お詫びと訂正

N.O. 362号の系統利用優良森林組合の一覧で「購買事業」の記載順番に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。正しくは左記のとおりです。

系統利用 優良森林組合
＜購買事業＞
松本広域森林組合 信州上小森森林組合 長野伊久森森林組合 飯佐久森森林組合

# 長野県の木材市況

## 第1037回 市況表

(令和2年3月26日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	14,000	13,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	15,000	14,500	
		直	24~30	14,000	10,000	
すざぎ	3.0	直	16	10,000	8,000	4m (φ30cm~φ38cm) 直材限り需要あり。並材価格低迷。伐採される方はご相談下さい。
		直	18~22	7,500	5,000	
	4.0	直	18~22	12,000	8,000	
		直	24~28	13,000	8,000	
もみ	4.0	直	18上	12,000	7,000	安定的な需要あり。
	2.0	直	48	55,000		良材高値。
なら	3.0~4.0	込	30上	15,000	10,000	安定的な需要あり。
	4.0	込	14~18	12,000	9,000	
くり	4.0	直	18~22	25,300	15,000	良材高値。
		直	26~28	35,300	20,000	
くわ	1.0	直	46	25,000	一本単価	
からまつ	4.0	込	20上	16,000	12,000	価格横ばい。

出品量 1,165㎡ 販売量 1,164㎡ 落札率 99.9% 買い方 31社

出品にご協力いただきありがとうございます。今回の市売りでは、広葉樹、良材に応札が集中し活発な市売りとなりました。これから広葉樹を伐採される方は伐倒割れなどしないように丁寧な造材を心がけて下さい。宜しくお願致します。  
尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書及び伐採届の提出をお願いします。  
\*安全のため荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくお願致します。

## 第1039回 市況表

(令和2年3月25日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材して下さい。
		直	20~28	13,000	9,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	大径材に高値。
		直	18~28	18,000	14,000	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご購入お願いいたします。
		直	14~18	14,000	12,000	
		直	20上	18,000	14,000	
		曲	14~18	13,500	12,000	
あかまつ	4.0	込	26~56	10,000	6,000	価格横ばい。
		込	24~30	18,000	12,000	
くらみ	4.0	込	20~40	35,000	20,000	
くり	3.0~6.0	込	14~40	81,000	25,000	応札活発。
		元	74	230,000		
		元	46	120,000		
なら	3.0~4.0	込	20~30	20,000	12,000	
さくら	2.0~4.0	込	26~40	35,000	12,000	

出品量 4,179㎡ 販売量 3,600㎡ 落札率 86.1% 買い方 42社

今回の広葉樹祭り開催にあたり、多量出品いただき出荷者の皆様大変感謝申し上げます。あかげさまで大径材を中心に高値がつき応札活発な市売りとなりました。今後とも皆様のご協力お願いいたします。  
尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

## 第1071回 市況表

(令和2年3月26日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	直造材でお願いします。
		込	8~13	5,500	4,500	需要あり。出品願います。
	4.0	直	14~20	12,500	10,000	出品願います。
		直	22~28	14,000	12,000	
		直	30上	18,000	11,500	直造材で出品願います。
からまつ	4.0	曲	14~18	8,000	5,500	
		曲	20上	11,000	8,000	
		込	6~13	11,000	6,000	需要あり。直造材を心がけて下さい。
	4.0	直	14~18	12,500	9,000	出品願います。
		直	20上	20,000	14,000	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	6,000	5,000	
くらみ	4.0		40	50,000		
かつら	2.4		40	40,000		
いちよう	3.0		78	51,000		
げやき	4.0		74	150,000	一本単価	

出品量 1,962㎡ 販売量 1,814㎡ 落札率 92.5% 買い方 40社

市況としまして、カラマツについては依然として高値で安定しております。需要は旺盛ですので、丁寧な造材を心がけていただき、積極的に出品願います。  
スギについては、前回同様全国的な出荷量の増加による需給バランスを不安視する声が増え、今後の動向に注視が必要です。事業予定地でスギ材の現場があれば、センターへご一報頂きますよう、お願い致します。  
また、広葉樹については、大径材や欠点の少ない材に高値が見られました。一方で、これからの時期の並材は買い手の買い控えにより、価格は値下がり傾向に移移することが考えられます。伐採、出品の予定がある方は事前のご相談をお願いいたします。  
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の」納品書の提出をお願いします。

## 第521回 木材共販市況表

(令和2年3月27日実施)



出品量 1,850㎡ 買い方 15社 落札率 95.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考
ひのき	3.0	直	14	9,000	8,000	2,240	
		元直	16	12,500	9,000	2,520	
		込	18~24	17,500	16,500	4,620	
		込	26~28	16,500	15,000	4,200	
		込	30上	16,000	15,000	4,200	
		中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
	4.0	込	24~28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	16,000	14,000	3,920	
		元直	16~22	18,500	17,000	4,760	
		元	24~28	26,500	20,500	5,740	
		30上	50,500	35,500	9,940		
		中直	12~14	13,500	8,000	2,240	
すざぎ	3.0	込	16~22	18,500	15,000	4,200	
		込	24~28	16,000	14,000	3,920	
	4.0	直	12下	360	300		一本売り
		直	18~22	10,500	8,000	2,240	
		直	24~32	10,000	7,500	2,100	
		直	16~18	9,500	8,000	2,240	
ざぎ	3.0	直	20~22	11,500	9,500	2,660	
		直	24~28	12,500	10,500	2,940	
	4.0	直	30上	14,500	13,000	3,640	
		込	14~22	7,500	5,500	1,540	
からまつ	4.0	込	12~14	6,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
		込	18~28	13,000	12,000	3,360	
	3.0	込	30上	14,000	12,500	3,500	
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
		直	12下	320	270		
くり	4.0		18~38	35,000	12,500	3,500	

### 総評

ひのき出荷少なく価格やや下げ。中目安値動かず。  
すざぎ、出荷量あるが良材少なく価格は横ばい。  
からまつ引き合いやや鈍る、価格は横ばい  
引き続き出荷の協力をよろしくお願いたします。